

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成14年10月期)

水質概要

10月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層19.9、中層19.9、下層20.0)と比較して2程度高い値を示した。図1に示すように、10月の水温は13~24で変動しており、10月中旬以降徐々に水温が低くなる変動を示していた。水深による顕著な差異は見られなかった。

10月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層6.7psu、中層9.0psu、下層10.1psu)と比較して3~6psu程度高い値を示した。また、10月観測においては、高気圧が見られる10月9日~11日には高塩分水の流入が見られなかったが、ほぼ周期的に高塩分水の流入が確認された。

10月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおりほぼ3.4~6.4mg/lの変動であった(平均値:上層5.9、中層:4.9、下層:5.1)。

表1 10月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		($^{\circ}$ C)	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	22.6	11.4	4.9
	中層	22.7	12.8	4.3
	下層	22.7	13.1	3.4
中旬	上層	21.3	11.2	6.2
	中層	21.5	14.9	5
	下層	21.5	15.3	5.5
下旬	上層	16.7	11.2	6.4
	中層	17.2	13.8	5.5
	下層	17.3	14	6.3
月間平均 (10月)	上層	20.1	11.3	5.9
	中層	20.4	13.8	4.9
	下層	20.4	14.1	5.1

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

水質

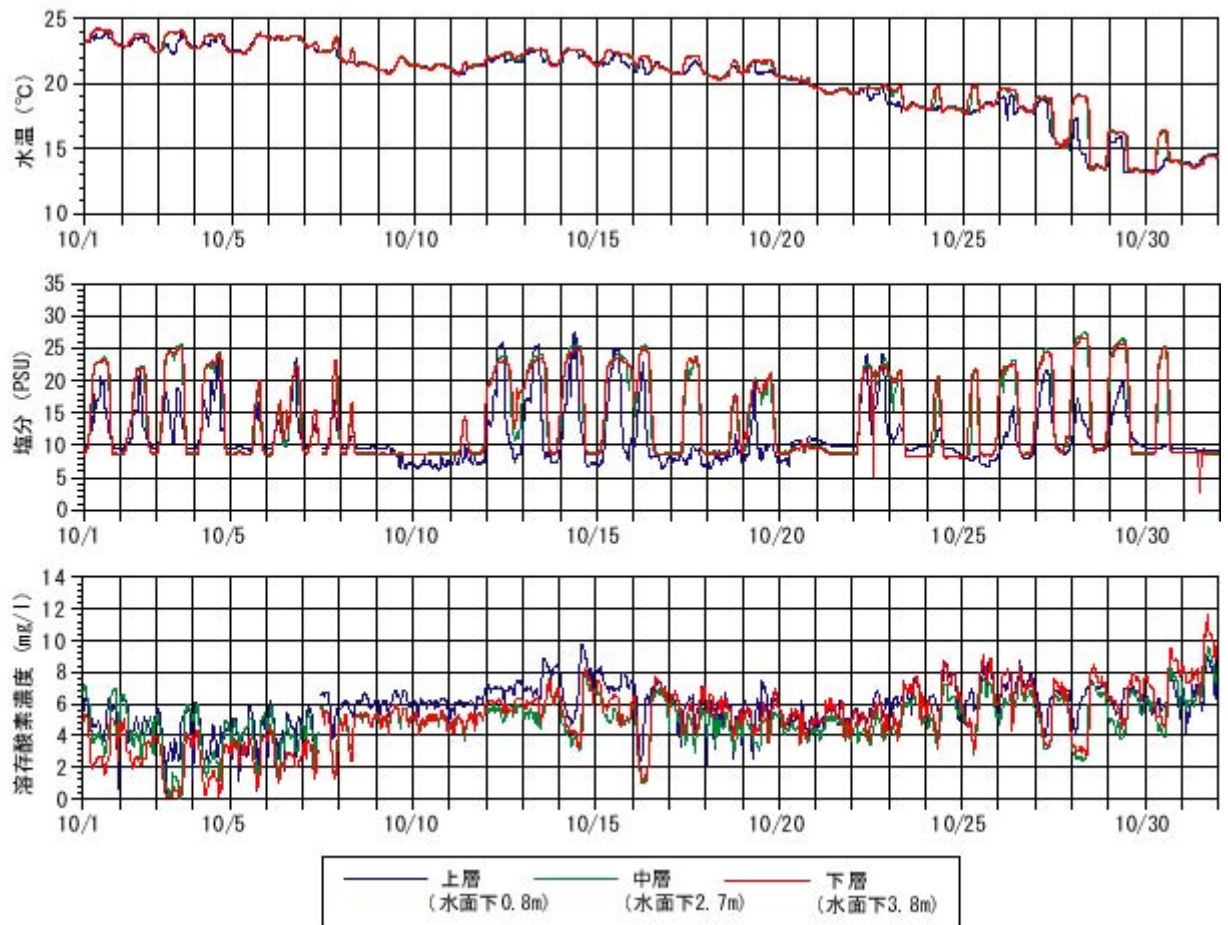


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

図2に示すように、10月の気圧変動は、全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1012.5hPaは、平年値(平年値1018.0hPa)と比較して低かった。表2に示すとおり、10月の日射量は、0.0651MJ/m²であり、9月と比較して低い値を示していた(9月平均値:0.0958MJ/m²)。10月の風向・風速は、平均風速2.0m/sec(平年値2.7m/sec,東風)であり、平年値と比較して低かった。

表 2 10 月期の気象概要

	気温 ()	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m ²)
上旬	19.9	1012.3	1.3	南南西	0.0727
中旬	18	1012.5	0.9	南南東	0.0724
下旬	13.4	1012.6	3.6	南南西	0.0516
月間平均 (10月)	17	1012.5	2	南	0.06

(平年値は、平成 13 年気象の暦 (山陰版) (財) 日本気象協会中国センターより引用)

(表中の数字は、平均値を示す)

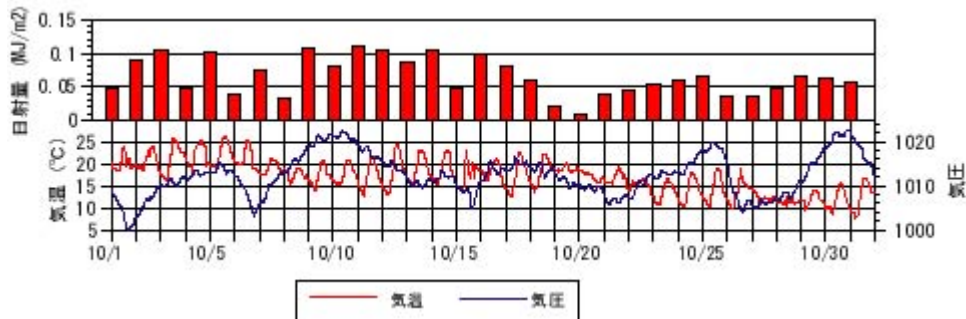


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

10 月の平均東方流速は、上層 14.6cm/sec、中層 8.7cm/sec、下層 7.6cm/sec であった。全体を通じて潮汐による往復流が見られた。10 月 12 日のように西方向 (中海から宍道湖方向) の流れが長時間続くような場合、長時間にわたって宍道湖への高塩分水の流入が見られる。

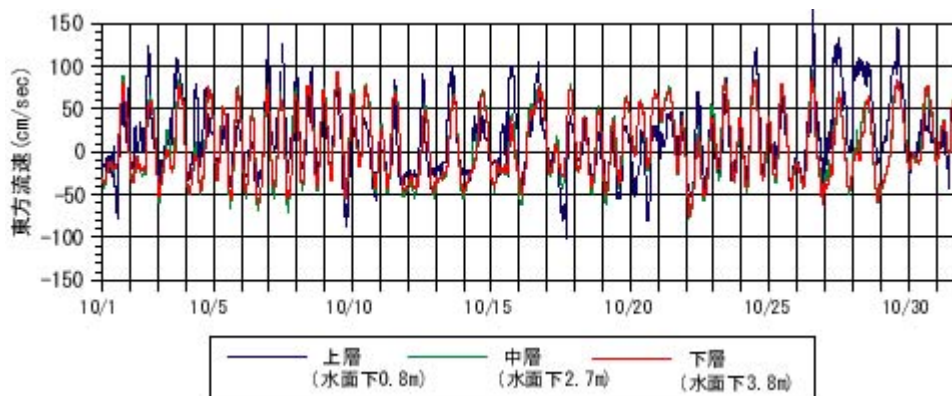


図 3 東方流速の時系列変化
